

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス「【第3版】競技会再開について(2021年1月15日)」、長野県高体連「新型コロナウイルス感染症に係るガイドライン(2021年7月15日改訂版)」に基づいて実施する。
なお、フィールド種目においてTR5.5は適用しない。

2 競技者案内所(TIC)

競技者案内所を競技場正面入り口に置き、次の業務を行う。

- ① 競技者、チーム関係者の受付
- ② 各種問い合わせ、落し物等の取扱い
- ③ 抗議、上訴の受付
- ④ プログラム販売(1冊500円)
- ⑤ 入賞者への賞状配布

3 受付について

受付については、次のように行う。

- ① 競技者の受付は、大会初日は競技場正面階段上で、2・3日目はTICにていずれも8:30から行う。
毎日朝8:00までに体調管理チェックシートに基づき、高校大会用体調管理入力フォームに入力を済ませておくこと。入力が確認できない者は、競技会に参加できない。
- ② 引率顧問・外部指導者の受付は、8:30よりTICで行う。受付の際、健康管理チェックシートを提出すること。提出後、「入場許可証」を発行する。競技場滞在中は随時身につけること。*入場許可証が確認できない方は退場をお願いする。

4 練習について

- ① 砲丸投の練習は補助競技場で行うこと。円盤・ハンマー・やり投の練習は、アクアウィング横の多目的運動広場にて行うこと。ウォームアップ場係の指示に従い、決められた場所以外での練習は絶対にしてはならない。競技会の時間以外には必ず顧問が付き添うこと。

5 競技場について

競技場(含補助競技場)は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下の専用ピンとする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

6 招集について

- ① トラック競技においては、100mスタート付近に招集所を設ける。フィールド種目においては現地招集とする。招集開始時間、入場時間、招集完了時間は、プログラム競技日程記載の通りとし、時間に遅れないようにすること。
- ② 種目を棄権する場合は、本人または代理人が招集所に申し出る。
- ③ 他の種目と兼ねて、同時に競技する者は、招集所の競技者係とその種目の審判員に申し出て、競技進行に支障のないようにすること。
- ④ リレー種目に出場するチームは、各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。一度提出したらその後の変更は認められない。
- ⑤ 各ラウンドともオーダー用紙提出後、傷病等により選手の出場ができない場合、医務の判断でその選手のみ認められる。ただし、編成(走順)の変更は認められない。その際は、TICまで申し出ること。
- ⑥ 八種競技の100m、110mH、七種競技の100mHについては招集所で招集を行い、その他の種目についてはプログラム記載の時刻に現地にて招集を行う。また、最終種目(男子1500m・女子800m)は、現地にて混成競技係よりレーンナンバー標識と腰ナンバー標識を受け取ること。

7 競技について

- ① アスリートビブスは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでよい。アスリートビブスのない者は出場できない。
- ② 4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバー標識を、3000m以上の種目は胸と背につけるレーンナンバー標識を事前に招集所で受け取ること。
- ③ 棒高跳用のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいならない。
- ④ 走高跳は、Aピット(第2曲走路内側100mスタート側)・Bピット(第2曲走路内側200mスタート側)の2か所で行う。また、走幅跳はAピット(ホームストレート側)・Bピット(バックストレート側)の2か所で行う。

- ⑤ 出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へ入らないこと。また、出場する選手が競技場所を離れる場合は必ず競技役員に申し出ること。
- ⑥ リレー、走高跳用のマーカーは各競技者で用意をすること。それ以外のフィールド種目のマーカーは主催者が用意する。終了後は撤去すること。
- ⑦ リレー出場者は各チーム同系色のユニフォームを着用するものとする。
- ⑧ 混成競技の最終種目の組合せは、それまでの得点合計によって編成する。
- ⑨ 三段跳の踏切板は砂場より男子は11m、女子は9mの位置に設置する。
- ⑩ フィールド競技の試技を命ぜられてからは、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	1分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	3分	2分		

- ⑪ 混成競技において各レースの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- ⑫ 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について（ただし、天候等により審判長判断で高さの変更もあり得る）

【男子】	練習										
走高跳	1.65/1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.93	・・・			
走高跳（混成A・B）	1.30/1.60	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	・・・
棒高跳	任意	2.70	2.90	3.10	3.30	3.40	3.50	3.60	3.70	3.80	・・・
【女子】	練習										
走高跳	1.30/1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	・・・			
走高跳（混成A・B）	1.10/1.35	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	・・・			
棒高跳	任意	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	・・・				

- ・同記録で順位決定の必要がある場合（1位と北信越大会への出場権）は、バーの上げ下げを走高跳は2cm 棒高跳は5cm で実施する。
- ・棒高跳の公式練習は競技役員の指示により実施する。

8 助力について

- ① 競技者は、ビデオ・ラジオ・音楽プレーヤー・トランシーバー・スマートフォン・タブレット等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ② コーチ等からの助言やビデオ等の視聴については競技場区域外（スタンド）のみとし、コーチングエリアは設けない。ただし、ビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。

9 学校対抗について

- ① 男女別学校対抗とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。）
- ② 入賞者の得点は1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

10 競技結果発表と表彰について

- ① 競技結果は、記録速報サイト(右 QR コード)にて発表する。会場内の密集を避けるため、掲示は行わない。
- ② 各種目8位までの入賞者に賞状を授与する。表彰は行わないので、TICに学校毎に賞状を取りに来ること。
- ③ 男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3位の高校には賞状を授与する。

11 北信越新人大会への出場について

- ① 上位4名（4チーム）の者は北信越新人大会への出場資格を得る。ただし、1人2種目以内とする（リレーは別）。辞退者が出た場合、8位入賞者から順次繰り上げをする。競技終了後、競技役員の指示に従い参加の意志を確認する。
- ② 北信越新人大会出場権取得者は、大会終了日までに本部へ参加料1人2,000円・プログラム代800円を添えて各校まとめて申し込む。

12 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

《記録速報サイト》



13 その他

- ① 競技者の服装・身なり・態度は、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。
- ② 貴重品は各自保管すること。ゴミ等は各自が責任をもって持ち帰ること。
- ③ 各校選手休憩場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は、3日間とも8:00に開場する。
- ④ 競技の結果、競技実施に関する抗議は正式結果発表後30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に該当学校顧問がTICに申し出ること。
- ⑤ 競技場内での撮影は該当選手の関係者がその該当を対象にしたもののみ許可し、それ以外の撮影は一切認めない。
- ⑥ プログラムの記載ミスについてはプログラム訂正用紙をTICに提出すること。

14 感染症対策

日本陸連「陸上競技活動再開のガイドライン」、県高体連の感染症対策に沿って行う。

- ① 無観客として実施する。会場内に入場できるのは、参加校部員、競技役員、大会役員、引率顧問、外部指導者、報道、協賛企業、特に総務が認めた者のみとする。引率顧問、外部指導者はTICにてADカードを受け取り、常時つけておくこと。
(今回の顧問とは、競技役員を兼ねない引率顧問のこと コーチとは当該学校と正式に契約しており、地区大会認知書に記載のある外部コーチとする。)
- ② 入場するすべての者は、大会2週間前から「体調管理チェックシート」を記入し、各学校部員については体調管理入力フォームを入力、その他の者は大会当日体調管理チェックシートTICに提出する。なお、当日体調に異常を感じる場合には参加を控えること。
- ③ 大会終了後、2週間は体調観察を行い、発熱などの症状があった場合には主催者に連絡をする。
- ④ 手洗い、うがい、手指の消毒をこまめに行う。競技終了後、必ず手洗い、うがいと手指の消毒を行う。
- ⑤ 3密の状態を作らないように心がける。
- ⑥ 声に出しての応援は行わない。集団応援、鳴り物を用いての応援は禁止する。スタンドではソーシャルディスタンスを確保する。
- ⑦ ウォーミングアップは個別で行う。
- ⑧ 更衣室の滞在は短時間とする。
- ⑨ 活動時以外はマスクを着用する。
- ⑩ 各学校の控え場所では荷物を置くなど必要最低限の滞在とし、できるだけスタンドに出てソーシャルディスタンスを確保した上で、待機すること。また、食事をする場合は、密にならず会話をせず食事をする。
- ⑪ ごみは各自で持ち帰る。
- ⑫ 今大会は動画を配信するのでご覧いただきたい。

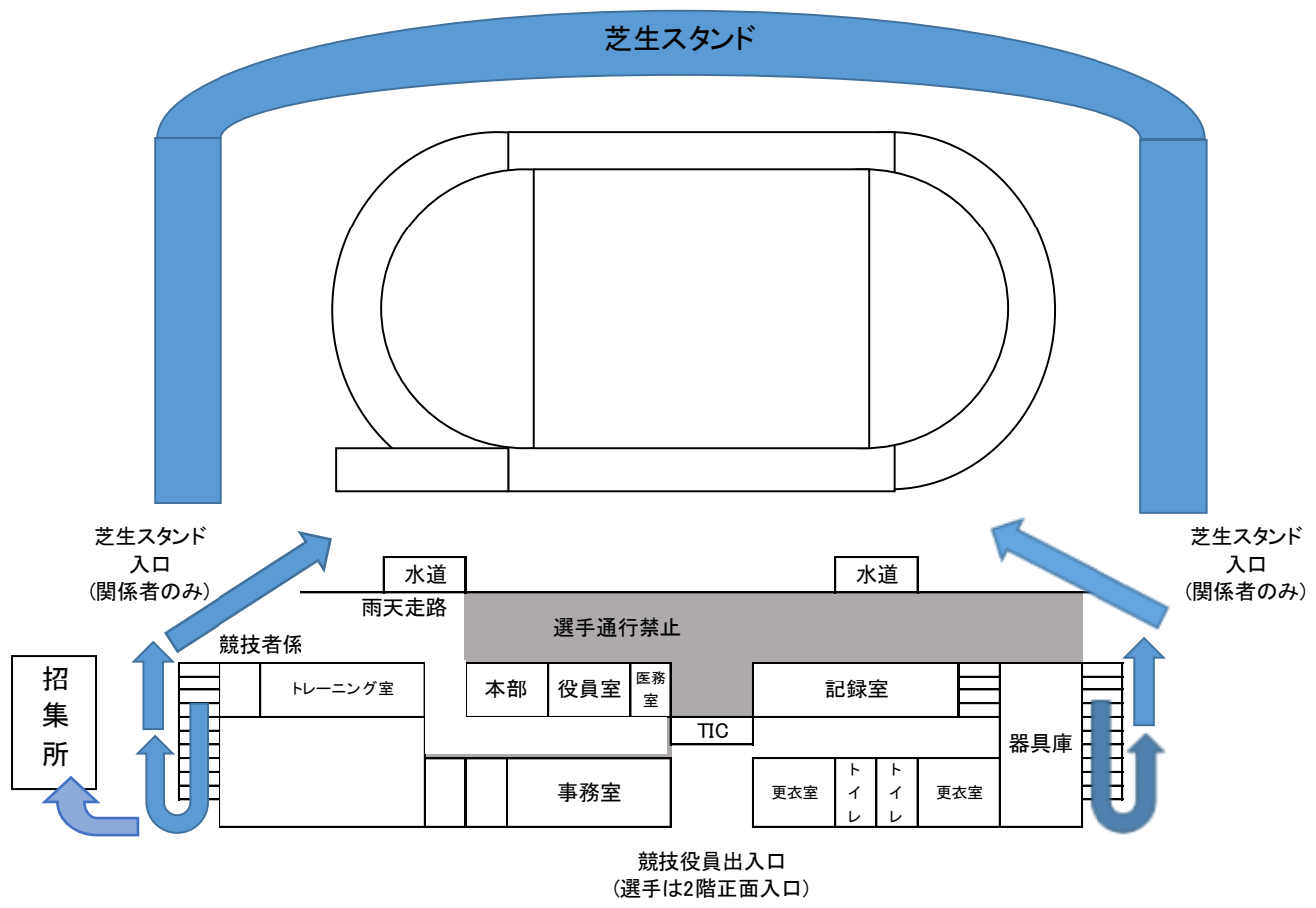
動画配信QR



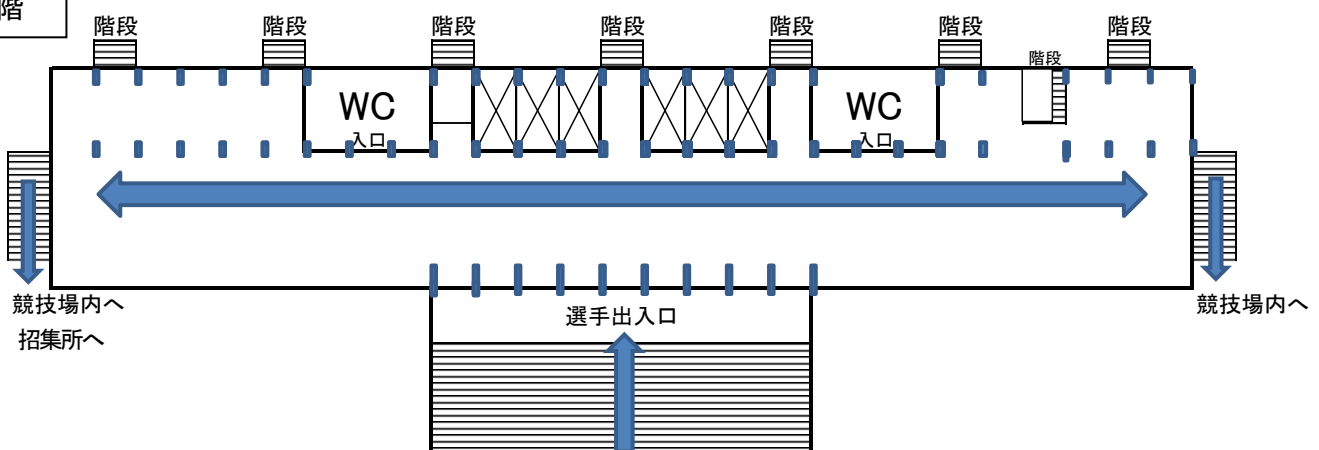
15 入場制限・競技者動線について

- ① 参加校部員・引率顧問・外部指導者は2階正面入口よりスタンドへ入場し、競技者の競技場内入場は両端階段から出入りする(会場図参照)。
- ② 競技役員・補助員は1階正面入口より競技場内へ入場する。原則として、1階の場内は競技役員の動線とし、2階コンコースを競技者の動線とする。
- ③ 競技場トラック内の競技者の動線については、次頁の別紙のとおりとする。

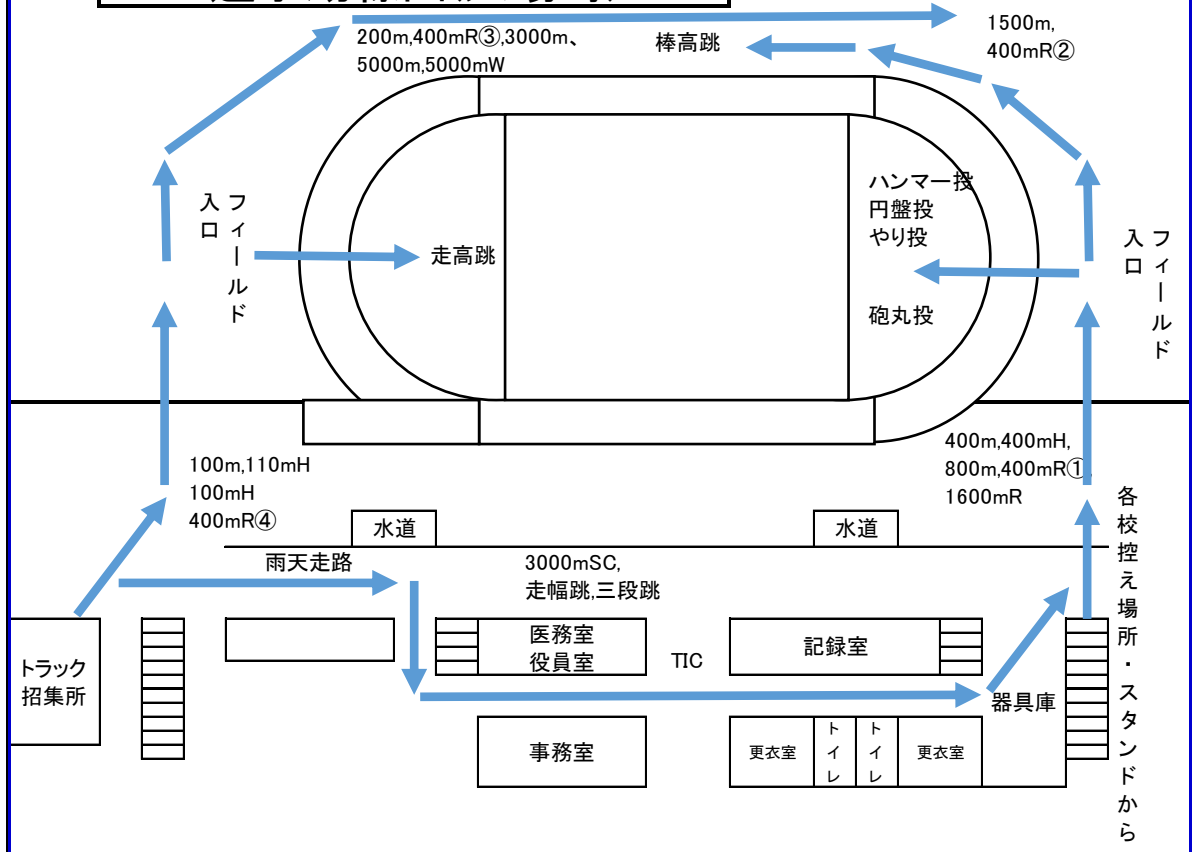
1階



2階



選手動線図(入場時)



選手動線図(退場時)

※400mR①②③はトラックを逆に回って荷物を取りに行く

※ゴール後、手洗いをしてから、100m, 100mH, 110mH, 200m, 3000m, 5000m, 5000mW, 1500m, 400mR④はバックストレート側を通って荷物を取りに行く

